

中山間ふるさと・水と土保全対策事業

棚田地域の総合保全対策事業

事業実施計画の実績

計画期間：平成27年度～令和元年度

1. 事業実施の基本方針
2. 事業実施の成果目標と実績
3. 事業計画と実績

滋賀県

1. 事業実施の基本方針

現状と課題	本県の中山間地域は、営農・社会条件等の不利性から高齢化や過疎化が進展しており、かつての農村集落が有していたネットワークや信頼関係が弱体化している。これまで集落ぐるみの取組によって維持されてきた田園景観や生物多様性の保全、伝統文化の継承、農地や水路等の維持保全がなされてきたが、それらの維持が困難となってきた。
事業実施の基本方針	中山間地域を始めとする農山村地域では、土地改良施設や農地が農業生産基盤の機能に加え、国土や自然環境の保全、美しい景観の形成、文化の伝承など、地域資源としての多面的機能を有している。このような多面的機能は、農村に生活する人たちだけでなく、都市に生活する人たちにもさまざまな恩恵をもたらしており、その維持増進は県民の大きな願いであることから、非農家を含めた集落ぐるみのさまざまな自発的・自主的な取組や、都市農村の交流の促進、中山間地域に対する総合的な対策によって、農村地域力の向上を図る必要がある。
計画後の目指す姿	今後は、集落の課題に対する話し合いを進め、担い手をはじめ集落の農業者と住民が互いに支え合い、企業や大学、NPO等と協働し地域資源を活かした共同活動支援などにより、地域の創意工夫による農村活性化を目指す。

2. 事業実施の成果目標

ふるさと・水と土保全対策事業

事業区分	主な成果目標	数値目標	内 容
調査研究事業	集落と多様な主体とのマッチングを図る体制の整備	支援地区 (現状) 0 → (目標) 40主体 (実績:R1) 38主体	集落と多様な主体（企業、大学、NPO等）が協働し、それぞれが有する知恵や資源、ネットワーク等の力を発揮できる体制の整備を行うことにより、コミュニティの維持・活性化の取組を支援する。 【結果】体制整備として「しがのふるさと支え合いプロジェクト」に登録した企業・大学等が目標40主体に対し、38主体となり、目標を概ね達成した。
研修事業	指導員の育成	(現状) 指導員（地域リーダー）研修 年1回 → (目標) 2回 (実績:R1) 2回	指導員の資質向上および実践活動の拡大、地域のリーダーとそれを支えるサポーターを育成するために、研修会等を開催する。 【結果】人材育成研修を年2回開催し、目標を達成した
推進事業	農村活性化の計画、実践活動を行う集落の支援	支援地区 (現状) 0地区 → (目標) 12地区 (実績:R1) 10地区	集落と企業、大学等が連携もしくは集落単独で、地域の創意工夫による農村活性化の取り組みを支援する。 【結果】目標12地区に対し、企業や大学と協定を締結して活性化の取組を行った地区が8地区、実践集落支援事業により集落単独で活性化の取組を行った地区が2地区、合計10地区となり、目標を概ね達成した。

棚田地域の総合保全対策事業

事業区分	主な成果目標	数値目標	内 容
保全ネットワーク推進事業	自律的活動組織の育成	支援地区 10地区 → (現状) 12地区 (目標) 12地区 (実績:R1) 12地区 自律地区 0地区 → (目標) 4地区 (実績:R1) 4地区	棚田の保全活動を行う組織へ支援を行う。また、参加者募集やボランティア活動以外のイベント等を企画運営するなど、自主的な取組を実施する組織を育成する。 【結果】支援地区数目標12地区に対し、12地区、自立地区の目標4地区に対し、実績4地区と目標を達成した。

3. 事業計画

ふるさと・水と土保全対策事業

※上段（ ）書き：計画、下段：実績

事業区分	事業名	事業内容	目標年度において達成すべき状況	現況値		計画期間における必要事業量	参考年度別事業量				
				～H26	うちH26		H27	H28	H29	H30	R1
調査研究事業	①地域づくり芽だし講座	地域住民自らが地域の課題に対して考え、取り組んでいく活動に対して支援を行い、地域活性化を図る。 ・ワークショップ ・専門家、職員の派遣	地域の主体的な取り組みを行う組織づくり、リーダーの養成	4地区	1地区	(4) 3地区	(2) 1地区	(2) 2地区	—	—	—
	②中山間地域現状調査	中山間地域の現状、課題を把握し、多面的機能を維持するための基礎資料とすることを目的とする。 ・アンケート、ヒアリング調査 ・専門家による現地調査(ワークショップ)	中山間地域の農村集落の現状・課題の把握および多面的機能の維持対策の支援	—	—	(36) 36集落 (6) 6集落	—	(24) 24集落 (3) 3集落	(12) 12集落 (3) 3集落	—	—
	③中山間ふるさと農村支え合い事業(支援体制整備)	企業、大学等と集落のマッチング、支援体制整備および活動補助を行う。また、資源活用マニュアルの作成、情報発信を行い、協働活動を行う体制を構築する。	集落、企業、大学、NPO等の登録	—	—	40主体	—	—	—	(20) 10主体	(20) 28主体
研修事業	④指導員の研修事業	県内研修会の開催を通じて指導員の実践活動における資質向上を図る。	指導員等の資質向上、研修機会の拡大	指導員研修 4回	指導員研修 1回	指導員研修 10回	指導員研修(2) 1回	※1	※1	—	—
	⑤地元活性化リーダー育成事業(指導員研修)			—	—	6地区	—	—	—	(6) 6地区	(6) 4地区
推進事業	⑥(地域活動団体支援事業)ふるさと農村支援事業	地域の活性化を図る目的で行われる地域住民活動に対して支援を行う。	自律的な地域共同活動団体への支援	13地区	2地区	2地区	(2) 1地区	—	—	—	—
	⑦(地域活動団体支援事業)人と地域が織りなす滋賀の農業・農村活力創造プロジェクト	集落機能を維持し、魅力ある地域づくりを目指すため、地域資源を活用した地域活性化の取組を推進する。	自律的な地域共同活動団体への支援	—	—	(4) 3地区	(2) 2地区	(1) 1地区	(1) 0地区	—	—

事業区分	事業名	事業内容	目標年度において達成すべき状況	現況値		計画期間における必要事業量	参考年度別事業量				
				～H26	うちH26		H27	H28	H29	H30	R1
推進事業	⑧中山間ふるさと農村支え合い事業	多面的機能の維持・保全や集落の活性化への取組を進めるため、3年以上継続して集落と協働活動を行う企業や大学、NPO等に対し補助を行う。	集落と協働して活動を行う多様な主体への支援	—	—	12地区	—	—	—	(6) 4地区	(6) 4地区
	⑨しがのふるさと活力づくり支援事業	地域集落が企業、大学、NPO等と連携もしくは単独で行う地域の創意工夫による農村活性化の取り組みを支援する。	活性化計画および計画の実践に対する支援	—	—	12地区	—	—	—	(6) 2地区	(6) 2地区
	⑩懇話会の開催	委員は、学識経験者、消費者グループ、土地改良区、マスコミ、行政など幅広い分野と女性の参画にも考慮した上、各委員からの専門的な指摘、助言を通じて本事業を効果的に推進するとともに、その内容を情報発信して事業の周知及び県民の理解向上を図る。	事業の効率的な実施と事業効果の検証	45回開催	2回開催	10回開催	(2) 1回	(2) 2回	(2) 2回	(2) 2回	(2) 1回
	⑪普及・啓発事業	本事業の趣旨や農業農村整備事業の取り組みなどを普及・啓発するために、facebookによる情報発信を行う。	田舎体験しがの更新	更新592件	更新12件	更新(48) 39件	(24) 24件	(24) 15件	—	—	—
滋賀のむらだよりの配布			2,000部	1,000部	(2,000) 2,000部	(2,000) 1,000部	(2,000) 1,000部	—	—	—	
facebookによる情報発信(更新)			—	—	144回	—	—	(48件) 16件	(48件) 58件	(48件) 60件	
参考事業費 (国費補助+ 県単分)			149,477	2,073	14,950	1,524	4,010	3,064	2,939	3,413	

※1 指導員と共に中山間現状調査におけるアンケート・ヒアリング調査を実施。また集落調査（ワークショップ）も指導員と共に実施。

棚田地域の総合保全対策事業

事業区分	事業名	事業内容	目標年度において達成すべき状況	現況値		計画期間における必要事業量	参考年度別事業量				
				～H26	うちH26		H27	H28	H29	H30	R1
保全ネットワーク推進事業	⑪保全ネットワーク推進事業	棚田の魅力発信やボランティア参加の募集および保全活動の支援	保全活動支援	9地区	9地区	累計 12地区	(10) 10	(10) 10	(11) 10	(12) 12	(12) 12
			自立的活動地区	—	—	累計 4地区	—	(3) 3	(3) 3	(4) 3	(4) 4
参考事業費 (国費補助)				38,123	2,729	11,720	2,915	2,753	2,659	1,702	1,691